

子どものまち・いしのまき @石巻市 アイトピア通り

10月5日(土)6日(日)の2日間、日本ユニセフ協会は、子ども参加や街づくりの専門家の派遣を通じて、「子どものまち・いしのまき」の開催をサポートしました。東日本大震災の被災地における子ども参画による復興支援活動の一環として、昨年に引き続き、NPOや市民活動団体が開催しました。子どもの“やりたい”を応援するイベントです。子どもたちの思いや夢、子どもが本来持っている力を引き出し、まち全体をワクワク・ドキドキの遊び場&学び場にする「まち体験交流活動」です。2年目の今年は、ユニセフの広報や募金活動などの“お仕事”を学び・体験できるブース「ユニセフハウス」を出店し、ニュース作りやユニセフカード&ギフトショップの店員さんとして大勢が体験しました。1000人を超える子どもたちがアイトピア通りに集まり、さまざまなお店で働き、特別通貨「マキー」を稼ぎ、好きな買い物ができる楽しい2日間でした。



ユニカフェ～気軽なユニセフ入門講座

10月19日(土)みやぎ生協文化会館ウィズで開催し、11名が受講しました。フォトランゲージ「地球の食卓～世界24ヶ国の1週間の食卓」でわいわいした後、ユニセフの活動概要を学びました。東北の生協で指定募金を届けているネパールの今を、スタディツアーに参加したボランティアが報告しました。大勢の優しさが途上国の自立につながっています。



ユニセフ ハンド・イン・ハンド 始まっています

みやぎ生協では、店舗を舞台に開催される「秋まつり」などで、ハンド・イン・ハンド(募金活動)が始まっています。46全店舗で実施予定です。共同購入エリアでも取り組まれます。ユニセフを支援しようと、各こ～ぶ委員会がいろいろな工夫をこらしています。ユニセフ・カード&ギフトの頒布活動と一緒にされるエリアもあります。



写真パネル展 @みやぎ生協 文化会館ウィズ & 白石店・加賀野店

「アフリカに必要なもの～アグネス大使の見たナイジェリア」 ナイジェリア国旗 ⇒



2013年4月、アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使がアフリカの多くの国が抱える格差の問題を象徴する国の一つナイジェリアを訪れ、スラムの子どもたちの暮らしや置かれている状況や、子どもや若者たちを支えるユニセフをはじめとする支援団体の活動の様子を取材。写真を通じ、ラゴスや街中で生活する子どもたちの状況や、格差の拡大を許容してしまっている社会の現状を伝えています。 10月21日～31日@ウィズ2F

11月1日～3日@白石店、11月7日～13日@加賀野店

「ユニセフやまがたのつどい」で、映画「カンタ!ティモール」が上映されました 10/30

昨年宮城で上映した映画を山形で再び鑑賞することができました。東北の生協で行っている指定募金先が、2014年度から『東ティモール』になります。どんな国なのか、山形の生協のリーダーさんたちにご理解いただけたいです。併せて、ネピアの“千のトイレプロジェクト”で作られた東ティモールの写真パネルの展示や宮城からはカード&ギフトの頒布を行いました。(この写真は、11月14日からウィズ2Fギャラリーでも展示します)

宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウィズ1F

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所:月曜日～金曜日

10:00～17:00

上記以外 070-6617-6284(五十嵐栄子)